

第12回古代アメリカ学会研究大会
プログラム

日時：2007年12月8日（土）11：00- 16:50

場所：[国立民族学博物館](#) 第5セミナー室

10:30～ 受付開始

－調査速報の部－

11:00-11:15 「ペルー北部・インガタンボ遺跡発掘調査報告」

山本 睦（総合研究大学院大学/日本学術振興会）

11:15-11:30 「ペルー、パコパンパ遺跡出土遺物の分析概報

－石器・骨角器・土製品・金属器」 荒田 恵（総合研究大学院大学）

11:30-11:45 「パコパンパ遺跡出土動物骨の分析」 鵜澤 和宏（東亜大学）

11:45-12:00 「パコパンパ遺跡半地下式広場の封印過程」

関 雄二（国立民族学博物館）

昼食(12:00-13:00)

13:00-13:15 「ペルー北部高地、パレドネス遺跡出土遺物の分析」

渡部 森哉（南山大学）

13:15-13:30 「アステカ・テノチティラン主神殿出土のトルコ石の象徴性」

井関 睦美（慶應義塾大学）

13:30-13:45 「ホンジュラス、ロス・ナランホス遺跡調査2004-2006」

伊藤 伸幸（名古屋大学）

13:45-14:00 「マヤ文明の政治経済組織と石器研究」 青山 和夫（茨城大学）

休憩（10分間）

－研究発表の部－

14:10-14:40 「米国南西部のココペリと呼ばれる人物図像について」

澤村 慎也（名古屋大学）

14:40-15:10 「中央アンデス高地におけるラクダ科動物家畜の飼育と利用

－民族考古学的アプローチによる考察－ 若林 大我（東京大学）

15:10-15:40 「ワルパ、ワリ、チャンカの無文土器」 土井 正樹（国立民族学博物館）

休憩（10分間）

15:50-16:20 「（仮）形成期におけるネペーニャの戦略」 芝田幸一郎（法政大学）

16:20-16:50 「アンデス形成期社会におけるクントウル・ワシ神殿」

加藤 泰建（埼玉大学）

*会員でない方もご参加いただけます（ただし大会資料代500円）。資料の印刷部数確認のため、参加ご希望の方は、古代アメリカ学会事務局（jssaa@sa.rwx.jp）まで、ご氏名とご所属をお知らせ下さい。

会場までの案内図およびプログラムは[こちらのPDF](#)をご覧ください。

以上